

## 2025年5月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月14日

上場会社名 株式会社オータケ 上場取引所 東  
コード番号 7434 URL https://www.kk-otake.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金戸 俊哉  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 光川 和宏 TEL 052-211-0150  
定時株主総会開催予定日 2025年8月28日 配当支払開始予定日 2025年8月29日  
有価証券報告書提出予定日 2025年8月28日  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年5月期の連結業績（2024年6月1日～2025年5月31日）

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年5月期	32,993	—	977	—	1,212	—	855	—
2024年5月期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2025年5月期 783百万円 (—%) 2024年5月期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年5月期	216.41	—	5.6	4.7	3.0
2024年5月期	—	—	—	—	—

(参考) 持分法投資損益 2025年5月期 ー百万円 2024年5月期 ー百万円

(注) 2025年5月期中間期より連結財務諸表を作成しているため、2024年5月期の数値及び対前期増減率は記載しておりません。また、自己資本当期純利益率及び総資産経常利益率は連結初年度のため、それぞれ期末自己資本及び期末総資産額に基づいて計算しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年5月期	26,064	15,388	59.0	3,929.93
2024年5月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 2025年5月期 15,388百万円 2024年5月期 ー百万円

(注) 2025年5月期中間期より連結財務諸表を作成しているため、2024年5月期の数値は記載しておりません。

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年5月期	983	△534	△399	2,699
2024年5月期	—	—	—	—

(注) 2025年5月期中間期より連結財務諸表を作成しているため、2024年5月期の数値は記載しておりません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年5月期	—	0.00	—	35.00	35.00	140	—	—
2025年5月期	—	0.00	—	37.00	37.00	144	17.1	0.9
2026年5月期(予想)	—	0.00	—	37.00	37.00		16.8	

(注) 2025年5月期中間期より連結財務諸表を作成しているため、2024年5月期の配当性向(連結)及び純資産配当率(連結)については記載しておりません。また、2025年5月期の純資産配当率(連結)は、連結初年度のため、期末1株当たり純資産に基づいて計算しております。

3. 2026年5月期の連結業績予想（2025年6月1日～2026年5月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	17,000	5.3	550	7.1	650	3.9	430	3.5	109.81
通期	34,000	3.1	1,000	2.3	1,220	0.6	860	0.6	219.63

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 （社名）株式会社田中産業、除外 1社 （社名）－

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年5月期	4,284,500株	2024年5月期	4,284,500株
----------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2025年5月期	368,806株	2024年5月期	278,206株
----------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数

2025年5月期	3,951,136株	2024年5月期	4,003,703株
----------	------------	----------	------------

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P4、「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等の注記) .....	11
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、米国の関税政策に起因する外需の減少により一時的な景気減速がありましたが、実質GDP成長率は前年度を超えるものとなりました。企業収益が高い水準を維持していることや人手不足などが企業の積極的な賃上げを促しており、実質賃金の改善が個人消費を下支えすることで引き続き景気の回復が続きました。今後については、緩やかな景気回復が期待されますが、急激な物価上昇や慢性的な人手不足に加え、米国の関税政策の影響により景気の下振れが懸念される状況にあります。

当管材業界におきましても、デジタルトランスフォーメーションに伴う情報化対応や脱炭素など環境対策のための設備投資による民間需要が拡大する中、投資財価格の落ち着きもあり受注の回復が続きましたが、エネルギー価格の高止まりや働き方改革による労働時間の減少に起因する物流費の増加、人手不足に伴う人件費の増加は企業収益の押し下げ要因となっており、当社グループを取り巻く事業環境は今後も予断を許さない状況にあります。

このような状況の下、当社グループは当連結会計年度を始期とする「第2次中期経営計画（2025年5月期～2027年5月期）」を策定、その基本方針・戦略ビジョン・数値ビジョンを下記のとおりといたしました。

## 基本方針（目指す方向）

本中期経営計画の最終年度（2027年5月期）に創業80周年を迎えるにあたり、創業来培ってきた管工機材業界における商品調達力、供給力、提案力、販売力に一層の磨きをかけて、社会環境整備と未来環境創造に貢献していく。

## 戦略ビジョン

「既存事業の収益力強化」「事業領域拡大による成長促進」  
「サステナビリティ／人的資本経営の実践」「資本コストや株価を意識した経営の実現」

営業体制の強化により主力商品の売上を拡大し安定的な利益を確保するとともに、管工事部門の立ち上げによる受注体制の整備、ECサイト再構築等により事業領域を拡大することで、収益の確保と一層の売上拡大を図ってまいります。また、人的資本経営への取組として、デジタルトランスフォーメーション推進、働きやすい職場環境の整備、多様な人材の採用、女性活躍の推進等を進めてまいります。

## 数値ビジョン

(単位：百万円)		第73期 2025年5月期	達成率	第74期 2026年5月期	第75期 2027年5月期
売上高	目標	32,000	101.4%	33,000	34,000
	実績	32,447		—	—
営業利益	目標	950	105.6%	1,000	1,120
	実績	1,003		—	—
経常利益	目標	1,150	107.5%	1,200	1,320
	実績	1,235		—	—
当期純利益	目標	780	113.1%	840	920
	実績	882		—	—

(注) 目標及び実績は株式会社オータケ単体の数値

今後も「第2次中期経営計画」ビジョン実現を目指していくとともに、更なる企業価値の向上に取り組んでまいります。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は329億93百万円となりました。利益面につきましては、営業利益は9億77百万円、経常利益は12億12百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は8億55百万円となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産につきましては、流動資産合計が172億28百万円となりました。この主な内訳は売掛金が51億76百万円、電子記録債権が49億90百万円、商品が32億46百万円であります。

固定資産合計は、88億36百万円となりました。この主な内訳は土地が37億4百万円、投資有価証券が32億69百万円であります。

以上の結果、当連結会計年度末の資産合計は260億64百万円となりました。

負債につきましては、流動負債合計が92億93百万円となりました。この主な内訳は電子記録債務が57億1百万円、支払手形及び買掛金が26億56百万円であります。

固定負債合計は、13億82百万円となりました。この主な内訳は退職給付に係る負債が7億11百万円、繰延税金負債が4億5百万円であります。

以上の結果、当連結会計年度末の負債合計は、106億76百万円となりました。

純資産につきましては、当連結会計年度末の純資産合計は153億88百万円となりました。この主な内訳は利益剰余金が125億9百万円であります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動により資金を9億83百万円獲得し、投資活動により5億34百万円使用し、財務活動により3億99百万円資金を使用したことにより、26億99百万円となりました。

なお、当連結会計年度におけるフリー・キャッシュ・フローは、4億49百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は9億83百万円となりました。これは主に法人税等の支払いが3億44百万円あったことや棚卸資産の増加が3億3百万円ありましたが、税金等調整前当期純利益を12億39百万円計上し、仕入債務の増加により4億4百万円増加したこと等によります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は5億34百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が2億38百万円あったことや連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が2億17百万円あったこと等によります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は3億99百万円となりました。これは自己株式の取得による支出が1億90百万円あったことや配当金の支払額が1億40百万円あったこと等によります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第69期 2021年5月期	第70期 2022年5月期	第71期 2023年5月期	第72期 2024年5月期	第73期 2025年5月期
自己資本比率 (%)	63.3	61.4	60.2	60.8	59.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	32.0	29.7	28.5	28.3	26.4
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率 (%)	—	—	—	5.9	7.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	△586.4	636.8	595.1	739.1	267.2

自己資本比率 : 自己資本／総資産  
 時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産  
 キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債／キャッシュ・フロー  
 インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

2 キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

3 第73期は、有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

- 4 第73期より連結財務諸表を作成しているため、第72期までは株式会社オータケ単体の数値を記載しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、企業収益が高い水準を維持していることや企業の積極的な賃上げが継続していることなどから、景気は引き続き緩やかに回復していくと思われまます。また、企業の設備投資は前向きな状況が続いていることから、需要は今後も増加していくものと考えられます。一方で、米国の関税政策に起因する外需の減少拡大や中東における地政学的リスクの高まりなど、景気の先行きは引き続き不透明な状況で推移する中、物流費・人件費等は依然として上昇しており、当社グループを取り巻く事業環境は今後も予断を許さない状況にあります。

このような環境下において、当社グループは「第2次中期経営計画」の実現により、事業基盤の整備及び更なる企業価値の向上に取り組んでまいります。

次期連結業績見通しにつきましては、売上高340億円、営業利益10億円、経常利益12億20百万円、親会社株主に帰属する当期純利益8億60百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、海外での事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	当連結会計年度 (2025年5月31日)
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	2,715,444
受取手形	982,081
電子記録債権	4,990,170
売掛金	5,176,114
有価証券	10,000
商品	3,246,060
その他	110,333
貸倒引当金	△1,724
流動資産合計	17,228,480
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物	2,962,179
減価償却累計額	△1,903,498
建物及び構築物 (純額)	1,058,681
機械装置及び運搬具	117,278
減価償却累計額	△77,241
機械装置及び運搬具 (純額)	40,037
土地	3,704,169
建設仮勘定	87,000
その他	333,509
減価償却累計額	△242,725
その他 (純額)	90,783
有形固定資産合計	4,980,671
無形固定資産	
のれん	128,041
その他	310,010
無形固定資産合計	438,051
投資その他の資産	
投資有価証券	3,269,683
その他	152,898
貸倒引当金	△4,915
投資その他の資産合計	3,417,666
固定資産合計	8,836,390
資産合計	26,064,870

(単位：千円)

当連結会計年度 (2025年5月31日)	
<b>負債の部</b>	
流動負債	
支払手形及び買掛金	2,656,754
電子記録債務	5,701,250
1年内返済予定の長期借入金	19,000
未払法人税等	275,267
賞与引当金	243,228
その他	398,410
流動負債合計	9,293,911
固定負債	
長期借入金	52,500
繰延税金負債	405,294
再評価に係る繰延税金負債	117,314
退職給付に係る負債	711,611
資産除去債務	40,182
その他	55,656
固定負債合計	1,382,559
負債合計	10,676,471
<b>純資産の部</b>	
株主資本	
資本金	1,312,207
資本剰余金	1,316,178
利益剰余金	12,509,566
自己株式	△659,569
株主資本合計	14,478,382
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	1,144,851
土地再評価差額金	△234,835
その他の包括利益累計額合計	910,016
純資産合計	15,388,398
負債純資産合計	26,064,870

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)
売上高	32,993,580
売上原価	28,239,083
売上総利益	4,754,496
販売費及び一般管理費	3,776,504
営業利益	977,992
営業外収益	
受取利息	1,475
受取配当金	91,635
仕入割引	127,945
その他	19,455
営業外収益合計	240,511
営業外費用	
支払利息	3,681
債権売却損	1,808
その他	224
営業外費用合計	5,714
経常利益	1,212,789
特別利益	
固定資産売却益	3,318
投資有価証券売却益	23,562
特別利益合計	26,881
税金等調整前当期純利益	1,239,671
法人税、住民税及び事業税	410,178
法人税等調整額	△25,580
法人税等合計	384,597
当期純利益	855,073
親会社株主に帰属する当期純利益	855,073

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)
当期純利益	855,073
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△68,416
土地再評価差額金	△3,351
その他の包括利益合計	△71,768
包括利益	783,304
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	783,304

## (3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,312,207	1,315,827	11,794,713	△481,099	13,941,648
当期変動額					
剰余金の配当			△140,220		△140,220
親会社株主に帰属する当期純利益			855,073		855,073
譲渡制限付株式報酬		351		11,622	11,973
自己株式の取得				△190,092	△190,092
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	351	714,852	△178,470	536,733
当期末残高	1,312,207	1,316,178	12,509,566	△659,569	14,478,382

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,213,268	△231,483	981,785	14,923,434
当期変動額				
剰余金の配当				△140,220
親会社株主に帰属する当期純利益				855,073
譲渡制限付株式報酬				11,973
自己株式の取得				△190,092
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△68,416	△3,351	△71,768	△71,768
当期変動額合計	△68,416	△3,351	△71,768	464,964
当期末残高	1,144,851	△234,835	910,016	15,388,398

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前当期純利益	1,239,671
減価償却費	147,363
のれん償却額	6,739
顧客関連資産償却額	5,666
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,294
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,508
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	25,686
受取利息及び受取配当金	△93,110
支払利息	3,681
投資有価証券売却損益 (△は益)	△23,562
売上債権の増減額 (△は増加)	△196,438
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△303,344
仕入債務の増減額 (△は減少)	404,184
その他	12,235
小計	1,238,574
利息及び配当金の受取額	93,110
利息の支払額	△3,681
法人税等の支払額	△344,111
営業活動によるキャッシュ・フロー	983,891
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△238,851
無形固定資産の取得による支出	△14,267
投資有価証券の取得による支出	△130,874
投資有価証券の売却による収入	43,023
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△217,818
その他	24,296
投資活動によるキャッシュ・フロー	△534,491
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△19,000
社債の償還による支出	△50,000
自己株式の取得による支出	△190,092
配当金の支払額	△140,220
財務活動によるキャッシュ・フロー	△399,312
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	50,087
現金及び現金同等物の期首残高	2,649,356
現金及び現金同等物の期末残高	2,699,444

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

当連結会計年度(自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)

当社グループは、報告セグメントが管工機材卸売業のみであり、その他の事業は重要性が乏しいためセグメント情報の記載を省略しております。

## 【関連情報】

当連結会計年度(自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品の外部顧客への売上高が連結損益計算書の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所有している有形固定資産はないため、該当事項はありません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める外部顧客がないため、記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

当社グループは、報告セグメントが管工機材卸売業のみであり、その他の事業は重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)
1株当たり純資産額	3,929円93銭
1株当たり当期純利益金額	216円41銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)
1株当たり当期純利益金額	
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	855,073
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	855,073
期中平均株式数(千株)	3,951

(重要な後発事象)

該当事項はありません。